

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画(第7回変更)
竜王地区

山梨県 甲斐市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	やまなしけん 山梨県	市町村名	かいし 甲斐市	地区名	りゅうおうちく 竜王地区	面積	798.0 ha
計画期間	平成 21	平成 25	年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度		

目標							
大目標 人が安心、安全に暮らし、活気あふれるまちづくりの推進							
目標1 都市機能の充実したまちづくり							
目標2 安全で快適に暮らせるまちづくり							
目標3 住みよさをみんなで築くまちづくり							

目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況							
○本市は、平成16年9月に竜王町、敷島町、双葉町の合併により誕生し、それぞれの庁舎を中心として、大きく分けて三つの市街地から形成されている。							
○本市では、平成18年3月に第1次甲斐市総合計画を策定し、「質の高い快適な居住環境が整備されたまち(快適居住都市)」と「甲府盆地の新たな発展をリードするまち(活力創造都市)」の2つの将来像を統合し、甲斐市の望まれる将来像を「緑と活力あふれる生活快適都市」として掲げ、基本政策として6つのまちづくりの方針を定めたところである。							
○また、総合計画と併せて、平成18年3月に甲斐市地域防災計画を策定するなかで、防災機能の強化のための各種の事業を計画し、災害に強いまちづくりを目指している。							
○当該地区は、市役所本庁舎を中心とした甲斐市の中心的市街地であり、中心市街地にふさわしい都市基盤整備の整備を進めるとともに、庁舎の集約化を始めとする都市機能の充実を図ることとしている。							
課題							
○旧町単位で3つの市街地が形成されており、また、郊外型の大規模店舗の建設により、一体的な都市として発展が阻害されているため、まちづくりの拠点となる公共施設や道路網などの都市基盤の充実や都市機能の整備が課題である。							
○大規模災害(東海地震や釜無川活断層などの活断層地震)が想定されている中で、公共施設の耐震化や防災情報などのネットワーク施設など、地域の防災機能の強化が課題である。							
○他地区からの人口の流入が多く、また、核家族化も進行していることから、地域の自治体活動への参加が少なく、地元住民とのコミュニティー不足が課題である。							
将来ビジョン(中長期)							
○甲斐市総合計画において「地域コミュニティー」の活性化が必要な地域として位置づけられている。							
○甲斐市総合計画では、まさか(大規模災害や事件・事故)の不安が少ないまちづくりを推進し、非常時に迅速かつ的確に対応できる防災・防火体制づくりを進めている。							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
防災情報のネットワークの整備率	%	防災・災害時の情報伝達区域の整備率	災害及び防災情報を、住民に迅速かつ的確に伝達することを目的に、これまでの伝達区域を拡張する。	60	H・20	75	H・25
地域交流センターの利用者数	人/年	地域交流センターの利用者数	地域交流センターを中心に設置し、利用者の増加と中心市街地の活性化を図り、都市機能の充実を目指す。	42,000	H・20	44,000	H・25
公共施設の耐震化率	%	耐震性能を有する公共施設割合	災害時に避難所として活用できる公共施設の耐震改修として、当該地区を中心に短期間で整備を行い、安心安全なまちづくりを目指す。	18	H・20	75	H・25
防災対策への満足度・認知度	%	安心・安全に暮らせるまちづくりの満足度	防災設備の整備により、迅速かつ適確な情報伝達ができることで防災意識の高揚を図る。	50	H・20	70	H・25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(都市機能の充実したまちづくりの整備)</p> <p>・本市は、東海地震の地震防災対策強化地域に指定され、市民の安全性の確保及び安心できる基盤整備を図るため、地域における防災対策を進めていかなければならない。よって、災害時の避難所整備・避難救援路を確保し、都市防災機能の向上を図る。</p>	<p>道路(基幹事業/市道万才河原線・上篠原玉小線・冷間住宅線) 下水道(基幹事業/冷間団地再開発計画事業) 地域生活基盤施設(基幹事業/南部公民館耐震改修) 地域創造支援事業(提案事業/北部公民館解体等工事・防災倉庫解体工事・上水道配水管布設工事・玉幡小学校給食施設整備・竜王中学校給食施設整備、竜王北小学校学校施設整備事業)</p>
<p>整備方針2(安全で快適に暮らせるまちづくりの整備)</p> <p>・災害時により迅速・的確に情報伝達を行うことにより、市民の生命財産の保護と被害の軽減を図り、国が推進する情報通信システムをいち早く取り入れるため、現在の防災行政無線をアナログ方式からデジタル方式に変更し、高性能な情報通信システムを構築し安全な街づくりの整備を図る。</p>	<p>地域生活基盤施設(基幹事業/放送施設・防災行政無線) 地域創造支援事業(提案事業/防災無線室)</p>
<p>整備方針3(住みよさをみんなで築くまちづくりの整備)</p> <p>・市民の自治意識の高揚を図りながら、コミュニティ活動の活性化を促進し、行政と市民が一丸となったまちづくりをつくるとともに、市民が楽しく、快適に住めるような街並みの整備を図る。</p>	<p>高次都市施設(基幹事業/地域交流センター) 事業活用調査(提案事業/景観計画策定業務・事後評価調査)</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>竜王地区(山梨県甲斐市)</p>	<p>面積 798 ha</p>	<p>区域 竜王、篠原、万才、富竹新田、竜王新町、名取、西八幡、玉川、長塚、大下条、中下条の一部、龍地の一部</p>
---------------------	----------------------	--

